

## ポストコロナ時代における日本とASEAN諸国との 関係構築を議論

2020年11月18日

講師：アズマン・ウジャン マレーシア・ナショナル・ニュース・エージェンシー 会長  
ウォルター・シム シンガポール・ザ・ストレイツ・タイムズ紙 日本特派員  
藤田 正孝 国際機関日本アセアンセンター 事務総長

経済広報センターは11月18日、「ポストコロナ時代における我が国とASEAN諸国との関係構築」と題するオンライン会合を開催した。

昨年11月に実施したASEANジャーナリスト招聘プログラムのメンバーのなかから、マレーシア・ナショナル・ニュース・エージェンシー（ベルナマ通信）元会長のアズマン・ウジャン氏、シンガポールのザ・ストレイツ・タイムズ日本特派員のウォルター・シム氏が、さらには日本アセアンセンターの藤田正孝事務総長が参加し、各国の新型コロナウイルス対応を踏まえた日ASEAN関係を中心に活発な意見交換を行った。

ウジャン氏は、マレーシアの新型コロナウイルス対応を説明したうえで、日本企業の役割の重要性を指摘。日本の大学では初めての外国分校が同国に設立されることを踏まえ、今後の二国間協力へのさらなる期待を述べた。

シム氏は、菅義偉首相のASEAN訪問にポジティブな見方を示した一方、日本の感染症対策には疑問を呈した。藤田氏は、コロナ禍によるサプライチェーンの分断について言及し、グローバル・バリューチェーンのレジリエンス強化に向けた日本アセアンセンターの提言を説明した。

また、アメリカ大統領選挙についてウジャン氏ならびにシム氏は、特に貿易政策の改善を期待しつつも、慎重な見方を示した。さらに、今後の日本とアセアンの関係について、両者がさまざまな分野で協力を進めることにより、明るい将来を築いていきたいということで会合を締めくくった。

以上

---

一般財団法人

## 経済広報センター

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

電話：03-6741-0031

<https://www.kkc.or.jp/>

<http://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。